

調布をゆったり楽しくハッピーに!

# わくわく

2018年  
4月

12号

特集

バリアフリーから  
合理的配慮へ

# トリエ 京王調布を 見学

発行：調布市福祉作業所等連絡会  
企画・編集：調布コミュニケーション推進委員会「調布アットホーム」  
デザイン：(有)ハンデコングラフィックス  
撮影：表紙・原子尚之

調布市福祉作業所等連絡会 サイドブック わくわく

わくわく12号 2018年4月 発行 調布市福祉作業所等連絡会 調布市6田2-6-8-101 TEL.012-181-3201 [info@rennetheba.com.ac.jp](mailto:info@rennetheba.com.ac.jp)  
企画・編集 調布コミュニケーション推進委員会「調布アットホーム」

技が決まると最高!

泉巨輝さん(22)が、ダンスを始めたのは小学2年生の頃。その後、中学生のときに出会ったブレイクダンスに本格的にのめり込み、現在は深大寺のわかばの会に通いながら「Kokin g(ゴーキング)」のダンスサークルで活動しています。ダンスチーム「LOVE JUNIX(ラブジャンクス)」と「MOREPOPEYOKOHAMA」に所属し、これまで数々の舞台でブレイクダンスを披露してきました。

倒立やスピンなどの技が織り込まれるブレイクダンスは、ダンスの中でも筋力、体力のいるジャンル。週2回のレッスンは、一つのポーズをキープし続けるハードな練習もあり、「しんどいけれど、技が綺麗に決まると楽しい!」と巨輝さん。仲間と一緒に息を合わせて踊ることも、ダンスの魅力だと話します。

これまで「LOVE JUNIX」のライブや、調布市の学校や市内のお祭りでの公演、代々木公園で世界ダウン症の日(3月21日)開催される「ONB+LOVE WORLD」での公演など、多くのショーに参加。ブレイクダンスのバトル大会への出場経験もあり、肩で地面でぐるぐる回る「ウィンドミル」や「バックスピン」などの高度な技もお手の物。ダウン症ダンスでトップクラスともいわれています。ダンス以外にサッカーや水泳などの運動も楽しみ「AKB48」などの音楽を聴くことも大好き。多趣味で充実のプライベートを楽しんでいます。

## life style

このページでは、障がい者の生活の1コマをご紹介します。



※次号「わくわく13号」は、2018年9月に発行する予定です。